

防災対策 ～もしものため、あなたの家族を守るため～

防災について話し合う

定期的に家族そろって防災会議を開き、災害から身を守る方法を話し合っておきましょう。

防災会議のテーマ

家族一人ひとりの役割分担

日常の防災の役割と災害が起きたときの役割の両方を決める。

家屋の危険箇所チェック

家の内外をチェックして危険箇所を確認し合う。

家の中に安全な空間を確保する

家具の安全な配置換えや、家具の転倒や落下を防ぐ方法を考える。

非常持出品のチェックと入替え

必要な品がそろっているかチェック。新しいものと取り替えも忘れずに。

災害時の連絡方法や避難場所の確認

家族が離ればなれになったときの連絡方法や避難場所を確認する。できれば休日などを利用し、みんなで下見をしておく。

最低限そろえておきたいもの

懐中電灯

できれば一人にひとつ用意。予備の電池と電球も忘れずに。

非常食・水

缶詰など、火を通さずに食べられるものを。乳幼児がいる場合には粉ミルクなど。

携帯ラジオ

小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるものを用意。予備の電池は多めに。

救急薬品・常備薬

キズ薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など。常備薬があれば忘れずに。

その他

ヘルメット（防災ずきん）、衣類、ライター（マッチ）、ナイフ、ビニール袋、紙おむつやほ乳びんなど。



- さまざまな災害に対応するには、日頃から防災に対する知識を備え、いざという時に行動できるように準備をしておくことが重要です。本年4月にお配りした『南九州市ハザードマップ（保存版）』には、今回ご紹介した防災対策以外にも、避難場所や防災マップなどの情報を掲載し、災害時の迅速な対応に役立つよう作成していますので、ぜひご覧いただきご活用ください。



地域防災推進3原則

防災対策・災害対応を考えるうえで「自助／共助／公助」という考え方があります。

「自助」とは、自ら（家族も含む）の命は自らが守ること、または備えること

「共助」とは、近隣が互いに助け合って地域を守ること、または備えること

「公助」とは、市役所や消防・警察による救助活動や支援物資の提供など、公的支援のこと

[担当] 知 防災安全課 交通防災係

平成28年熊本地震災害義援金

熊本地震災害で被災された方々を支援するための義援金を受け付けています。皆さまの温かいご支援、ご協力をお願いします。



▲ 4月19日、南九州市からの支援物資（水・お茶 500ml ペットボトル約 4800 本と給水袋（6L）600 袋）を、熊本市の支援物資集積所である「うまかなよかなスタジアム」に届けました。

■直接振込をされたい方

【受付期間】 6月30日まで

【義援金受付口座】 銀行名：鹿児島銀行鴨池支店

口座番号：普通預金 664155

名義：日本赤十字社鹿児島県支部長

※振込手数料は免除。ただし、鹿児島銀行窓口での取り扱いに限ります。

※振込通知書に「平成28年熊本地震災害義援金」と明記のこと。

※受領証を希望される方は、あわせて「受領証・要」と明記のこと。

■市役所・社会福祉協議会の窓口を持ってこられたい方

・市役所各庁舎に義援金箱を設置しています（6月30日まで）。

・社会福祉協議会本所支所窓口でも受け付けています（6月30日まで）。

※領収証が必要な方は、市役所各庁舎福祉係・社会福祉協議会本所・

各支所に準備しています。

[担当] 川 福祉課 社会福祉係